

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和3年7月15日

インフラを巡る地域密着型ツアーを催行する旅行会社を募集します

北海道開発局では、公共施設（インフラ）の見学に加え、地域の「歴史」「産業」「文化」「食」といった様々な要素を組み合わせ、インフラ整備と地域発展のストーリーを実感できるインフラツーリズムに、令和元年度より地域の旅行会社と連携して取り組んでいます（インフラわくわくツアー）。

この度、令和3年度第一弾として、道内の3つの地域（後志、釧路、十勝）、4つのテーマでツアーを企画しました。これらのツアーについて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で催行いただける旅行会社を募集します。

なお、催行日は9～10月のいずれかで日程調整を行い決定することとしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響によっては、募集又は催行の中止、あるいは内容の変更を行う場合があります。

記

1 ツアーテーマ

(1) (後志編)

『積丹半島で巡る「後志の文学とインフラ整備の歴史」』

(2) (釧路編)

『釧路川治水100年！釧路地域を発展させた土木遺産「新釧路川」と日本最大の湿原「釧路湿原」の大自然を巡る』

(3) (十勝編①)

『農業王国十勝の開拓の歴史』

(4) (十勝編②)

『平成28年豪雨災害を忘れない。わたしたちの暮らしを守るインフラ施設』

2 募集期間 令和3年7月15日（木）～令和3年7月29日（木）

3 申込み方法等 応募要領、申込み様式、申込み先等については、北海道開発局ホームページをご参照ください。

URL : <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 鈴木 武彦（内線5433）

開発監理部 開発連携推進課 開発専門官 鎌田 耕司（内線5441）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

積丹半島で巡る「後志の文学とインフラ整備の歴史」

- ◆ 国道5号から229号の日本海沿岸地域は、古くから交通の難所として知られ、明治初期の浮世絵にも描かれているとおり、人々は往来に難儀していた。そのため、早くから安全な陸路の整備が望まれていたが、その急峻な地形ゆえになかなか整備が進まず、数々の苦難をくり抜けてきた歴史がある。
- ◆ 一方、後志には積丹半島西岸の鯨漁での繁栄、羊蹄山麓の肥沃な土地を農業に生かすべく進められた開拓事業、大正から昭和にかけての金融中心都市としての小樽の発展等が引き金になり、多くの作家たちが訪れあるいは生活し、そこに生きる人々の姿を文学に描いた。
- ◆ こうした後志の歴史をひもときながら、文学に描かれた時代のインフラ整備、主に隧道・トンネルに目を向け、その苦勞と技術の進化について解説する。

予約枠

令和3年9月下旬～10月の1回（日程は調整の上決定）

ツアー定員

35名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

ポイント！

- ★ 各施設、インフラわくわくツアーのために特別解説！
- ★ 明治、大正、昭和、平成のトンネルを一望できるスポットや日本最古の軌道と言われる茅沼炭鉱鉄道のレール、客間を有する北海道唯一の鯨御殿、小林多喜二のデスマスクなど、ここでしか見られない貴重な資料がたくさん！
- ★ バス車内では、小樽開発建設部職員がインフラの歴史と文学とのつながりや、最新のインフラ技術を駆使した現在の国の道路事業について解説。
- ★ ツアー参加者には、小樽開発建設部製作の「後志と文学と」「後志インフラ文学ツーリズム(R229周遊編)」などツアーを楽しめる副読本を配付するほか、20周年を迎える鯨御殿とまりからは記念品も贈呈。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけますが、(★)印のメニューは必須です。その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です(分)。

01 市立小樽文学館(★) 石川啄木、小林多喜二、伊藤整など小樽・後志にゆかりのある文学者について学ぶ。＜解説付き＞【60】

02 積丹町 武威トンネル(★) 明治、大正、昭和、平成のトンネルが並ぶ珍しい場所を見学。＜解説付き＞【10】

03 鯨御殿とまり(★) 長田幹彦が「漁場より」で描いた岩宇地方の鯨漁の歴史を学ぶ。建築物を外から眺めることの出来る外回りコースなども見どころ。＜解説付き＞【60】

04 岩内町郷土館(★) 岩内大火、洞爺丸台風を題材にした水上勉「飢餓海峡」の資料などを見学。＜解説付き＞【60】

※1～4の見学施設はすべて解説付きです。

※「小樽文学館」 休館日：毎週月曜日、祝日の翌日(ただし土・日の場合は休まず振替)

「鯨御殿とまり」 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

「岩内町郷土館」 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

後志編マップ



②武威トンネル
(明治、大正、昭和、平成のトンネルが並ぶ)



①市立小樽文学館



③ 鎌御殿とまり



④ 岩内町郷土館



「釧路川治水100年！」

釧路地域を発展させた土木遺産「新釧路川」と日本最大の湿原「釧路湿原」の大自然を巡る

- ◆釧路川の本格的な治水事業は、大正9年の大洪水を契機に、翌年の大正10年(1921年)から新水路事業に着手し、今年、令和3年(2021年)で100年を迎えます。
- ◆新水路は釧路町の岩保木地点から11.2kmの新水路を掘削する大事業であり、10年もの歳月をかけて昭和6年(1931年)に誕生しました。新水路を始め、釧路川の旧水路(釧路川)と新水路(新釧路川)の分流点に建設された岩保木水門、堤防、樋門などの治水施設により、釧路川流域は洪水など浸水被害から守られています。
- ◆新釧路川は洪水対策のほか、釧路港への土砂流入を防ぎ、地域の発展を支えた施設として、平成26年度公益社団法人土木学会「選奨土木遺産」に認定されています。
- ◆釧路川が流れる釧路湿原は、日本の湿地面積の約6割を誇る国内最大の湿原であり、日本で最初のラムサール条約登録湿地です。特別天然記念物のタンチョウを始めとする希少種が生息するエリアで、その釧路湿原の東端を寄り添うように走行するJR釧網線の車窓からは、その絶景を楽しむことができます。
- ◆日本における自然再生の先駆的モデルケースである釧路湿原自然再生事業の標茶町茅沼地区では、治水対策によって直線化した釧路川の蛇行を復元し、湿原植生が回復するなど湿原らしい環境に戻りつつあります。
- ◆本ツアーでは、釧路川の治水事業100年の歴史をたどりながら、釧路川の治水事業が地域に果たした役割と釧路湿原の大自然を体感していただきます。

予約枠

令和3年9月～10月(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回15名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

- ☆ 釧路湿原から新釧路川を縦断しての見学コースを開発局職員がご案内します！
釧路川治水の象徴、岩保木水門の内部を少人数でじっくりご覧いただけます！
- ☆ 標茶町博物館では、坪岡学芸員から湿原の成り立ち等の解説が聞けます！
～北海道遺産「北海道集治監釧路分監本館」、「旧塘路駅通所」も見学できます。
- ☆ 釧路市立博物館石川学芸員が同行！(要日程調整)
～JR釧網線で、釧路湿原をご覧いただきながら、鉄道遺産について解説します！

ポイント！

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけますが、(☆)印のメニューは必須です。その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です(分)。

- | | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 01 新釧路川治水施設(☆) | 治水記念公園や愛国樋門など治水施設の見学・解説【30】 |
| 02 岩保木水門(☆) | 岩保木水門の見学(内部見学あり)・解説【40】 |
| 03 細岡展望台 | 釧路湿原を展望・解説【20】 |
| 04 釧路湿原茅沼地区旧川復元(☆) | 釧路川の蛇行復元箇所の見学・解説【50】 |
| 05 標茶町博物館(☆) | 標茶地域の歴史を見学・解説【40】 |
| 06 JR釧網線 | 釧網本線は今年で全通90周年！釧路湿原を車窓から見られます【20】 |

※1_「1」～「4」については、北海道開発局職員が解説【無料】 ※2_「5」は標茶町博物館学芸員が解説・案内。【有料】
※3_「6」は、通常に運行している車両に乗車していただけます。【有料】 ※4標茶町博物館 休館日：毎週月曜日

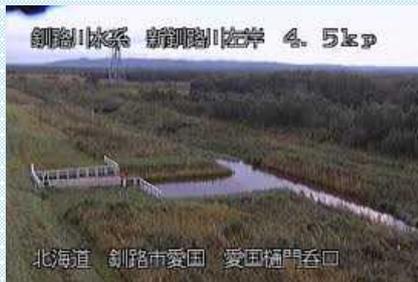
釧路編マップ



治水記念公園

愛国樋門

岩保木水門



「農業王国十勝の開拓の歴史」

- ◆ 北海道は日本の食料基地としての役割を担っており、なかでも十勝地方は「農業王国」と言われ、道内の農業生産の約4分の1を占めています。
- ◆ 十勝地方は明治初期の民間移民により開拓が進められましたが、火山灰性の土壌や湿地が広く分布しており、農業に適していない土地でした。また、この地域を流れる十勝川や札内川は、度々氾濫し水害を引き起こしていました。
- ◆ しかし、その後開拓者の努力と現在まで続く土地改良事業や治水事業により農作物の生産性向上、水害の抑制が実現し、安心して生活や農業が営めるようになりました。また、道路事業により農業生産物の輸送効率化が図られてきました。
- ◆ 本ツアーでは、日本を代表する食料基地となるまでに発展してきた十勝の開拓の歴史を学んだ上で、農業を支えるインフラの現場を見学し、さらに農業体験等を通じて、十勝の農業とインフラの整備が、日本の食の安全・安心に欠かせないものであることを体感します。

予約枠

令和3年9月～10月(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回20名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

☆ 普段は登ることが出来ない、十勝大橋の主塔(高さ約60m)からの映像をVRで体感！

ポイント！

☆ 千代田新水路では、開発局職員が解説

～国内最大規模の分流堰ゲート(高さ3.9m)を真下から見学できます！～

☆ 帯広百年記念館では、大和田学芸員が解説(要日程調整)

～十勝の開拓とインフラを絡めた話が聞けるのは、このツアーのみ！～

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけますが、(☆)印のメニューは必須です。その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です(分)。

- 01.帯広百年記念館(☆) 十勝の開拓の歴史について学芸員から解説【60】
- 02.幕別ダム(☆) 農業用ダム、農業事業の解説【20】
- 03.十勝大橋(☆) 十勝大橋の主塔から見える景色を映像で体感、旧十勝大橋の歴史を解説【60】
- 04.千代田新水路 分流堰ゲート見学、魚道観察【60】
- 05.十勝ダム ダムの解説やダム内部(監査廊)等の見学【60～90】
- 06.札内川ダム ダムの解説やダム内部(監査廊)等の見学【60】
- 07.一般国道274号日勝峠 十勝清水防災ステーションで平成28年度災害復旧の解説【30】
- 08.農業体験 十勝の農産物を使った調理、クラフト体験。野菜収穫・農耕体験。農機具資料館の見学及び解説【90～120】
- 09.アイスクリーム作り体験 アイスクリーム作り体験と酪農講話【60】
- 10.ビート資料館 十勝の代表的な農産物、砂糖の原料となるビート栽培や糖業に関する資料について、館長が解説【60】
- 11.馬の資料館 世界で唯一の「ばんえい競馬」が行われている帯広競馬場内にあるばん馬の歴史を展示した資料館の見学及び解説【30】
- 12.上川大雪酒造(株) 碧雲蔵 日本で初めて大学構内に誕生した日本酒蔵。施設内の見学及び解説【20】

※1 札幌発着の場合、十勝地方を満喫するには1泊2日のコース設定をお薦めします。 ※2 「01」での解説は10名×2班交代の20名。 ※3 「02」～「07」については開発局職員が解説。 ※4 「04」ヘルメット着用。 ※5 「05」監査廊の見学は、約80段の階段があります。また、半袖では寒い可能性があります。 ※6 「06」監査廊見学でエレベーター利用の際は6人×2班で12名まで。 ※7 「08」一部のみの実施も可。野菜収穫は10月中旬まで。 ※8 「09」アイス作りと講話の他、牧場見学も可能【30】。一部のみの実施も可 ※9 「12」は最大15名まで。

十勝編①マップ

十勝ダム

十勝大橋

十勝清水防災ステーション

千代田新水路

帯広駅

馬の資料館

幕別ダム

アイスクリーム作り体験

帯広百年記念館

農業体験

札内川ダム

上川大雪酒造(株)碧雲蔵

ビート資料館

富良野岳
カベベサンケ山
然別湖
阿寒湖
阿寒富士
阿寒
上士幌
士幌
本別
池田
豊頃
滝洞沼
歴命川
ヤオロマツ岳
ヘリコプター
大樹

ツアーテーマ

インフラわくわくツアー(十勝編②)

「平成28年豪雨災害を忘れない。 わたしたちの暮らしを守るインフラ施設」

- ◆ 近年、各地で地震、台風、洪水などの大規模災害が発生しており、平成28年には十勝地方でも台風による大きな被害を受けました。
- ◆ 住民の防災意識の高まりとともに、地域の防災力向上の取組が進展しています。
- ◆ 本ツアーでは、過去の災害復旧の解説、ダムの防災・減災に関する役割の解説と見学、北海道電力(株)が建設している発電所の見学と解説等により、インフラ施設の防災・減災対策を体感します。

予約枠

令和3年9月～10月(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回20名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

ポイント!

- ☆ 日勝峠では、平成28年の台風10号による壊滅的な被害からわずか424日で奇跡の復旧を果たした様子について、開発局職員が解説!
- ☆ 夏でも冬でも気温10度前後の、十勝ダムの監査廊を見学できます!
- ☆ 普段は登ることが出来ない、十勝大橋の主塔(高さ約60m)からの映像をVRで体感!
- ☆ 通常は立ち入ることが出来ない、建設中の発電所の見学&解説は、このツアー限定!

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけますが、(☆)印のメニューは必須です。その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です。

- 01.一般国道274号日勝峠(☆) 十勝清水防災ステーションで平成28年度災害復旧の解説【30】
- 02.十勝ダム(☆) ダムの解説やダム内部(監査廊)等の見学【60～90】
- 03.新得発電所(☆) 北海道電力(株)が建設中の発電所の見学・解説【30】
- 04.帯広百年記念館 十勝の開拓の歴史について学芸員から解説【60】
- 05.千代田新水路 分流堰ゲート見学、魚道観察【60】
- 06.十勝大橋 十勝大橋の主塔から見える景色を映像で体感、旧十勝大橋の歴史を解説【60】

※1 札幌発着の場合、十勝地方を満喫するには1泊2日のコース設定をお勧めします。 ※2 「02」監査廊の見学は、約80段の階段があります。また、半袖では寒い可能性があります。 ※3 「04」での解説は10名×2班交代の20名。 ※4 「01・02・05・06」については開発局職員が解説。 ※5 「05」ヘルメット着用。

十勝編②マップ

